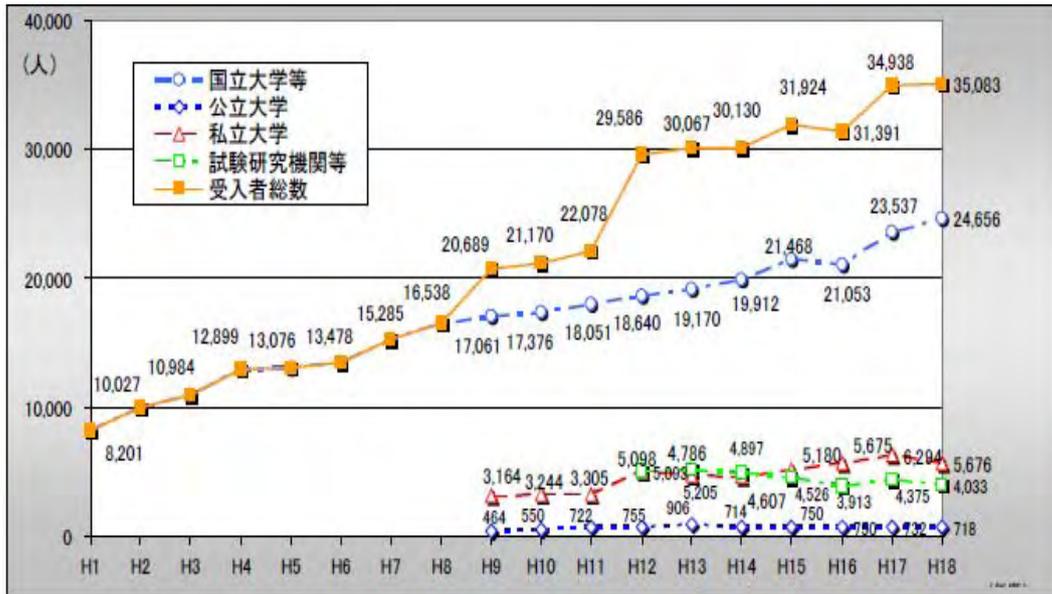


科学技術外交戦略タスクフォース 報告書
図表・別添集

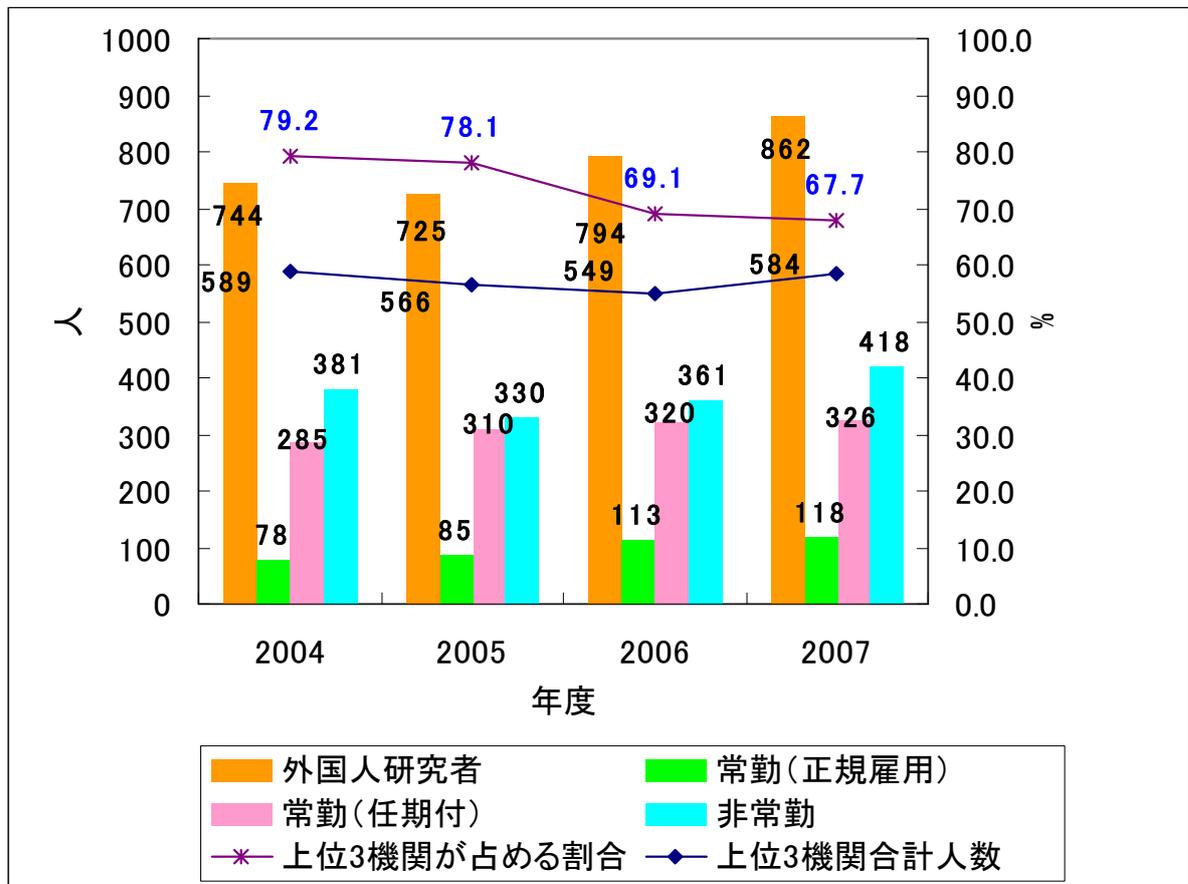
图 表

図1-1 大学における外国人研究者の現状



【出典】 文部科学省科学技術・学術政策局 国際研究交流の概況(平成18年度)

図1-2 研究開発法人における外国人研究者の現状



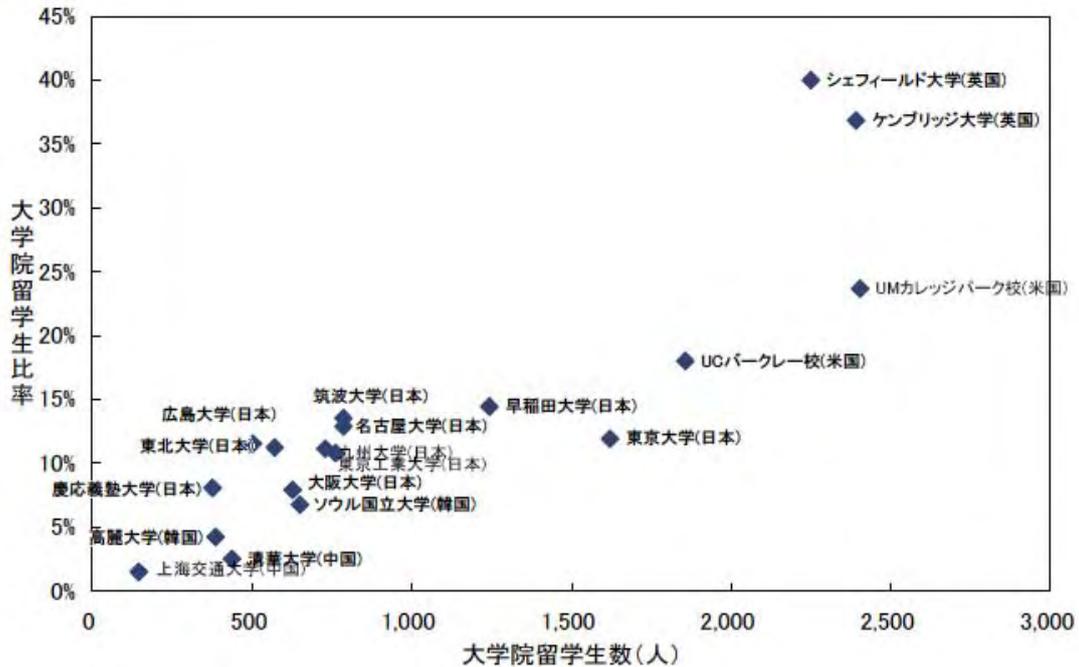
【資料】 内閣府「独立行政法人、国立大学法人等の科学技術関係活動に関する調査結果(平成19事業年度)」(平成20年10月31日)をもとに内閣府作成

表1-1 外国人研究者の出身国

	出身国	研究者数	全体に占める割合
1	中国	392	52.4
2	韓国	94	12.6
3	インド	76	10.2
4	米国	47	6.3
5	バングラディシュ	19	2.5
6	タイ	15	2.0
7	オーストラリア	12	1.6
8	ベトナム	10	1.3
8	インドネシア	10	1.3
10	マレーシア	8	1.1
	その他	65	8.7
	合計	748	100.0

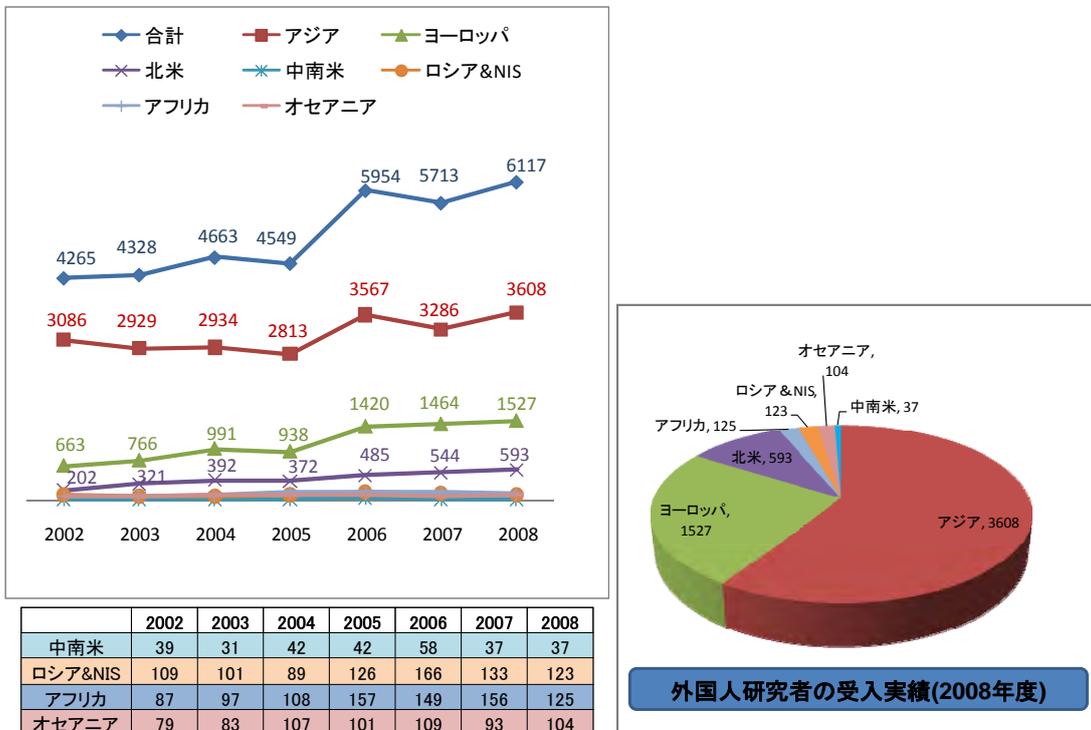
【資料】 内閣府「独立行政法人、国立大学法人等の科学技術関係活動に関する調査結果(平成20事業年度)」
をもとに内閣府作成

図1-3 国内・海外の主要大学院における留学生比率



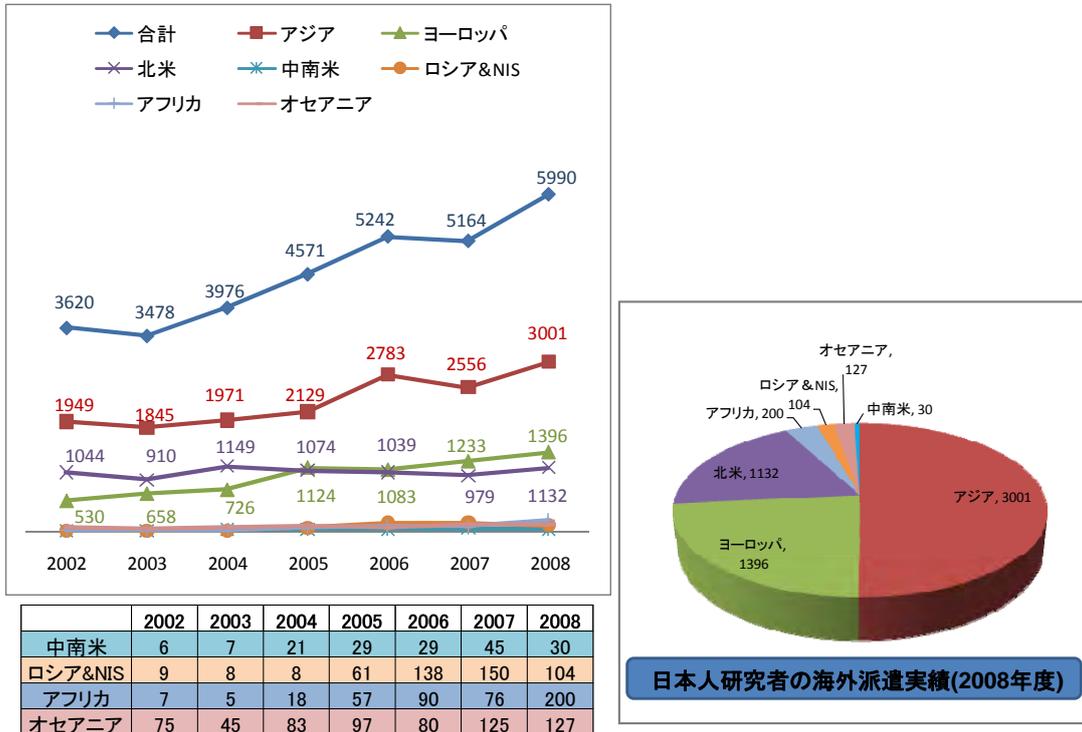
【出典】 科学技術政策研究所 第3期科学技術基本計画のフォローアップに係る調査研究「大学・大学院の教育に関する調査」プロジェクト第1部 理工系大学院の教育に関する国際比較調査 報告書(2009年3月)

図1-4 JSPSの事業により受入れている研究者数(地域毎)



【資料】独立行政法人 日本学術振興会 作成

図1-5 JSPSの事業により派遣されている研究者数(地域毎)



【資料】独立行政法人 日本学術振興会 作成

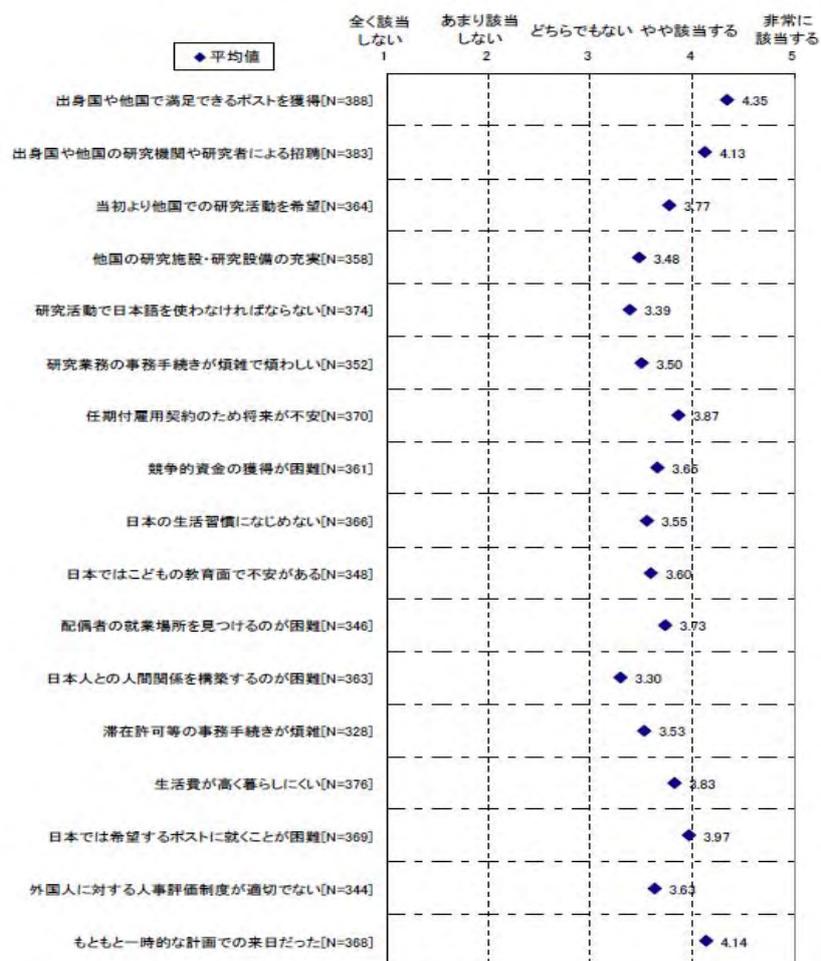
図1-6 外国人研究者の受入環境の整備



注1: 指数計算には、実感有りとした回答者の回答を用いた。

【出典】科学技術政策研究所「科学技術の状況に係る総合的意識調査(定点調査 2008) 全体概要版」(2009年3月)

図1-7 外国人研究者が日本を去る理由



【出典】文部科学省 科学技術政策研究所 第1 調査研究グループ 文部科学省 科学技術・学術政策局 調査調整課 「我が国の科学技術人材の流動性調査」(2009年1月)